

# アグリ20の施用方法

## ○用途別希釈倍数・施用法・施用量など

| 用途                                     | 希釈倍数                       | 施用法・施用量  | 備考                                   |
|--|----------------------------|--|--------------------------------------|
| 水稲・野菜・花・果樹<br>苗への施用                    | 100～300倍<br>(地床育苗は初回のみ50倍) | かん水を兼ねて、ジョウロやハスロで施用する。   | ・施用間隔は 5～10日                         |
| 野菜・花き・果樹<br>定植後のかん水的施用                 | 100～800倍                   | 月に10a当たり40～60kg (2～3缶)施用する。  | ・液肥混入機を利用して施用する。                     |
| 野菜・花き・果樹<br>定植後の葉面散布                   | 500～1000倍                  | 月に10a当たり1～2kg 散布する。  | ・散布間隔は10～20日<br>・植え付け前に1回行う。         |
| 野菜・花き・果樹<br>植付け前の抜本的土壌改良<br>(プランターを含む) | 10～20倍                     | 10a当たり1,000～500kg (50～25缶)を10tに希釈して施用する。<br>(1プランター当たり0.5～0.25を5ℓに希釈して施用する。) | ・野菜・花きは施用後に作畦、または作畦後に施用<br>・果樹は植え穴施用 |
| 水稲<br>田植え直前または直後の水田への施用                | -                          | 10a当たり20～40kg (1～2缶)を散布または水口から施用する。  | ・施用回数は1回                             |

## ○生育中のかん水的施用

かん水チューブまたはハスロを付けたホースで施用します。



かん水チューブで施用



ホースで施用

## ○生育中の葉面散布

動力噴霧器で散布します。農薬との混用はできません。

## ○植付け前の抜本的土壌改良(連作障害発生圃場)

かん水チューブで施用する方法と、ホースで施用する方法があります。

いずれも動力噴霧器を動力源にします。

濃度の高い液を使うため、土壌のpHが一時的に下がりますので、施用後5日以上たって植え付けや播種を行ってください。



かん水チューブで施用



ホースで施用